

基本目標2 ***** 地域福祉活動に対する支援施策の充実

2-1

基本施策1 地域福祉活動の担い手の育成

《現状・課題》

ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア活動に参加するきっかけを提供するとともに、地域福祉にかかわる人材育成やボランティア団体、NPO法人の発足に向けた相談等の支援が求められています。また、地域福祉活動を継続的に実施するため、広い世代の地域福祉活動への参加促進が求められています。

《アンケート調査結果等からみる状況》

◇ボランティア活動への参加状況は、「地域の行事のお手伝い」、「環境美化に関する活動」、「高齢者に関する活動」が上位に挙げられています。年代や居住年数、地域への愛着の有無などにより、参加したことがあるボランティア活動に異なる傾向もみられることから、属性に応じたアプローチも必要であると考えられます。なお、ボランティア活動へ「参加した経験はない」が約5割を占めることから、新規の地域福祉活動の担い手の発掘・育成も必要な取組であると考えられます。

◆ボランティア活動への参加状況について（上位3位）

「地域の行事のお手伝い」	24.9%
「環境美化に関する活動（自然愛護や美化活動、リサイクル運動など）」	15.5%
「高齢者に関する活動（高齢者の見守り活動・趣味のクラブ活動等への協力・老人施設訪問など）」	14.7%
「参加した経験はない」	50.7%

資料：地域福祉に関するアンケート調査より

◇ボランティア活動へ参加したきっかけは、「地域の役に立ちたいから」、「人の役に立ちたいから」といった主体的な意見が上位に挙げられている一方で、「誘われたから」、「人に頼まれたから」といった受動的な回答もみられます。気軽に誘い合いながら参加できる活動や地域づくりを推進することで、参加するきっかけを与えることにもつながると考えられます。

◆ボランティア活動に参加したきっかけについて

主体的な回答	「地域の役に立ちたいから」	28.4%
	「人の役に立ちたいから」	24.6%
受動的な回答	「誘われたから」	18.2%
	「人に頼まれたから」	15.7%

資料：地域福祉に関するアンケート調査より

2-1-1

施策1 ボランティアの育成

《取組の方向性》

ボランティア活動や市民活動の活性化を図るため、活動に関する情報の周知や、参加意欲のある人に対するコーディネート、活動に対する様々な支援を行います。

市民の取組

例えば・・・

- 地域の様々な課題に関心を持ち、できることからやってみる
- ボランティアや市民活動の情報を入手し、自分にできる活動を見つける
- 友人や仲間を誘い合ってボランティアを行う
- 輝きバンク（人材データベース）や社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録する

施設・団体の取組

例えば・・・

- 積極的に活動に参加してもらえるよう情報提供する
- 地域住民が活躍できる場を用意し、ボランティアを募集する
- 施設・団体の知識や経験を活用し、人材育成を図る
- 福祉施設などは、ボランティアを受け入れ、施設内のコーディネートを行う

社会福祉協議会の取組

- ボランティア登録団体・福祉施設・NPO法人・シルバー大学校同窓生、大学ボランティアセンター等とのつながりをつくり、活動参加を呼びかけます。
- 地域の福祉課題に応じたボランティアの養成を行います。
- ボランティアしてほしい人と、ボランティア活動がしたい人をつなぐコーディネートを行います。

具体的には・・・

- ボランティア養成講座の開催
- ボランティアサロンの開催
- ボランティア活動に関する情報の収集と発信
- ボランティア団体同士のつながりの強化
- ボランティア団体等との定期的な情報交換

行政 の取組 ++++++

- 市民活動団体の活動状況を様々な媒体を活用して市民に情報発信し、活動のきっかけづくりを行います。
- 生涯学習センター、社会福祉協議会と連携し、ボランティアの育成に努めます。
- 輝きバンクへの登録を勧めるとともに、市民の生涯学習を支援するために必要な人材を紹介します。

具体的には・・・

- 輝きバンクへの登録促進（生涯学習課）
- 手話通訳、要約筆記者の養成（福祉課）

2-1-2

施策2 若者の地域福祉活動への参加促進

《取組の方向性》

若い世代の地域とのかかわりを促進するため、学校を通じた地域活動やボランティア活動の普及啓発、仕事をしている人などが子どもといっしょに参加できるイベントの実施等を進めます。

市民 の取組 ++++++

例えば・・・

- 子どもと一緒に参加できる地域のイベントに参加する
- 学校で学んだ「ふくし」の知識を身近な日常生活で実践する
- 子ども主体の地域イベントを企画する

施設・団体 の取組 ++++++

例えば・・・

- 興味や関心事、世代に応じた活動に参加できるよう情報発信する
- 高校生や大学生の協力を得て行事などを開催し、意欲が高まるよう声をかける
- 学校の行事などに積極的に参加する
- 子どもや若者の声を行事などに取り入れる
- 福祉施設などは、企業の従業員などの協力を得て行事などを開催する

社会福祉協議会

の取組 ++++++

- 若者・企業を対象としたミニ出前講座など、地域活動に関心をもつきっかけづくりを推進します。
- 中高生が考える福祉のまちづくりやボランティア講座、福祉教育（ふくし共育）等を通して、誰もが住み良い地域づくりを推進するリーダーを育成します。
- 企業と連携し、働きながら地域貢献できる活動の情報を提供していきます。
- 若者のニーズを把握してそれに伴う地域イベント行事・地域福祉研修等の参加の促進をします。

具体的には・・・

- 出前講座の実施
- 中高生を対象としたボランティア事業の実施
- 国際医療福祉大学ボランティアセンターとの連携

行政

の取組 ++++++

- 学校等と連携し、高校生や大学生といった若い世代が市民活動に参加しやすい仕組みづくりを行います。
- ボランティア団体やNPO法人の活動を支援し、連携を図ります。

具体的には・・・

- NPO法人の設立支援の充実（政策推進課）

2-1-3

施策3 健康づくり・生きがいづくりを通じた地域力の育成

《取組の方向性》

健康づくりや生きがいづくりの取組を通じて、心身の健康の維持・増進を図るとともに、地域交流などを活用し地域力の向上を図ります。

市民

の取組 ++++++

例えば・・・

- 救命講習会を受講する
- かかりつけ医をもつ
- 救急医療情報キットを備える
- 与一いきいきメイト養成講座（介護支援ボランティアポイント制度）を受講し、高齢者ほほえみセンターを支援する

施設・団体 の取組 ++++++

例えば・・・

- 救命講習会を開催する
- 救急医療情報キットの設置を促進する
- 総合的な医療相談窓口の充実を働きかける

社会福祉協議会 の取組 ++++++

- 地域内の様々な活動、居場所活動を周知し、生きがい、やりがいをもって活動することの大切さを伝えていきます。
- 救急医療情報キットの申請・配布を支援します。
- 地域活動やボランティア活動を通した生きがいづくりを推進します。

具体的には・・・

- ボランティアセンター事業の充実
- 生活支援体制整備事業の推進
- 救急医療情報キットの申請・配布の支援

行政 の取組 ++++++

- 地域における健康づくりを推進する人材を養成するとともに、健康づくりに関する行事、イベントを通じて、市民の健康に対する意識の向上を図ります。
- 広域的な救急医療体制の充実に努めます。

具体的には・・・

- 健康づくりリーダー、健康づくりリーダー連絡協議会及び食生活改善推進員の養成、地域活動の推進（健康政策課）
- 介護支援ボランティアポイント制度及び与一いきいきメイト養成講座の実施（高齢者幸福課）
- 適正受診ガイドの全戸配布（健康政策課）
- 救急医療情報キットの配布（高齢者幸福課）

2-2

基本施策2 活動団体への支援

《現状・課題》

地域福祉活動の活性化のため、支援が必要な高齢者、障害者及び子育て家庭等を地域で支援する活動を実施している地区の拡大を図るとともに、自治会やいきいきクラブ等の地域福祉活動を担う市民活動団体への支援が求められています。

《アンケート調査結果等からみる状況》

◇社会福祉協議会の認知度は、「名前も活動の内容もよく知っている」が約2割、「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が約6割と、社会福祉協議会という組織自体は認知されているものの、活動内容の周知が進んでいない状況がうかがえることから、情報発信の工夫をしながら、周知していく必要があると考えられます。

◆社会福祉協議会の認知度

「名前も活動の内容もよく知っている」	17.8%
「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」	56.8%
「名前も活動の内容もよく知らない」	20.8%

資料：地域福祉に関するアンケート調査より

2-2-1

施策1 地区社協の活動支援

《取組の方向性》

地域福祉活動の基盤となる、地区社協の活性化を図るため、活動や意識を周知し参加の促進を図るとともに、地域の現状・課題にあった取り組みができるよう活動を支援します。

市民

の取組

例えば・・・

- 地区社協だよりを読む
- 地区社協のイベントや活動に参加する

施設・団体

の取組

例えば・・・

- 地区社協と連携し、共同で実施できる事業を検討する
- 福祉施設などは、専門分野を生かして地区社協と連携、協力をする

社会福祉協議会 の取組

- 12 地区社協ごとに地区担当職員を配置し、地区社協運営や活動状況について確認し活動が円滑にいくよう情報提供・助言に努めます。
- 地区社協連絡会や研修会を通し、活動のヒントを得られるよう支援します。
- 地区社協活動費や研修バス費、食事サービス活動費（赤い羽根共同募金による助成）等、運営に必要な経費について助成します。

具体的には・・・

- 地区社協連絡会又は、研修会の実施
- 地区担当職員の配置、地区社協運営・活動の支援
- ホームページ、広報紙を活用した地区社協活動の周知

行政 の取組

- 地区社協の活動を支援します。

具体的には・・・

- 地区社協活動の支援（福祉課）

2-2-2

施策2 ボランティアセンター・生涯学習の充実

《取組の方向性》

市社会福祉協議会ボランティアセンターへの登録や生涯学習の取り組みを促進するとともに、ニーズの把握や、関係機関との連携、コーディネート機能の充実により、機能の強化を図ります。

市民 の取組

例えば・・・

- 市社会福祉協議会ボランティアセンターや生涯学習センターに登録し活動を行う
- 市社会福祉協議会ボランティアセンターに相談してみる

施設・団体 の取組

例えば・・・

- 市社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録し、連携して活動を行う
- 福祉施設などは、市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携し、ボランティアの受け入れや施設内のボランティアコーディネートを行う

社会福祉協議会

の取組 ++++++

- ボランティアセンターを広く周知し、ボランティアに関する情報を発信します。
- ボランティア相談対応や、ボランティアしてほしい人とボランティア活動がしたい人をつなぐコーディネートを行います。

具体的には・・・

- ボランティア情報紙「だいすき」や、ホームページを活用した周知
- ボランティア相談の対応、登録の推進
- ボランティア養成講座の開催
- ボランティアニーズの把握とボランティアの募集、コーディネート
- ボランティア保険への加入促進

行政

の取組 ++++++

- 生涯学習センター登録団体に対し、活動場所や交流機会の提供、情報の収集発信などを行います。

具体的には・・・

- 生涯学習センターの充実（生涯学習課）
- 輝きバンクへの登録促進（生涯学習課）

2-2-3

施策3 市民活動グループの活動支援

《取組の方向性》

市民活動に関する情報提供や相談支援、活動場所の提供、団体間の交流機会等により、活動の活性化を図ります。

市民

の取組 ++++++

例えば・・・

- 興味がある団体の活動に参加する
- 情報共有や勉強会などにより、活動内容を充実させる

施設・団体 の取組

例えば・・・

- 地域のなかで、自分たちにできることを話し合う
- 市民活動団体は、他団体との連携・情報共有や勉強会などにより、活動内容を充実させる
- 地域における困りごとやニーズに対し、必要な支援活動を推進する

社会福祉協議会 の取組

- ボランティア保険の周知、加入促進を広め、安心して活動ができるように努めます。
- ボランティア団体へのヒアリングを通して、活動中での課題や悩みを把握し、持続したボランティア活動ができるよう支援します。

具体的には・・・

- ボランティア団体等に対するヒアリングの実施
- ボランティア保険への加入促進
- ボランティア活動機器の貸出し
- 地域活動との橋渡し、連携
- 赤い羽根共同募金「おおたわらを良くするしくみ応援助成事業」を活用した、市民団体の活動助成

行政 の取組

- 団体活動についての広報・周知を充実します。
- 市民活動団体が積極的に活動に取り組めるよう、助成制度の情報提供や活動についての相談支援、活動場所の提供など、様々な面から支援します。
- コミュニティ助成事業により、地域の福祉向上に貢献する市民活動団体を支援します。

具体的には・・・

- 市ホームページ等を活用した活動団体の活動の広報・周知（福祉課）
- 生涯学習センターの充実（生涯学習課）
- コミュニティ助成事業による支援（関係各課）

基本目標2の達成に向けた成果指標

+++++

地域福祉に関するアンケート調査結果の指標

ボランティア活動に参加した経験がない市民の割合	令和4年度実績 50.7%	➔	令和9年度目標 45.0%
社会福祉協議会を認知している市民の割合	令和4年度実績 17.8%	➔	令和9年度目標 22.0%

社会福祉協議会の指標

事業名	内容		
出前講座の実施	○地域福祉活動に関する出前講座を行い、地域活動に関心をもつきっかけづくりを推進します。		
	指標	実績	目標
	出前講座の実施	0回	4回

行政の指標

事業名	内容		
協働のまちづくりの推進	○ボランティア団体、NPO法人等の活動支援に努めるとともに、協働推進を担う人材の確保に努めます。		
	指標	実績	目標
	市民活動に参加した事がある割合 (注) 市民意識調査	37.0% (R2)	50.0%